

# 市民調査で持続可能な社会を創る

～スーパーマーケット環境調査の結果を活かし、広める～



NPO法人環境市民 グリーンコンシューマーグループ 堀 孝弘  
元京都市ごみ減量推進会議

## お品書き・メニュー

今日の話し手と活動団体

プラスチック問題

ちょっとお勉強・どんな問題か

プラスチックとどうつきあっていくか

世界の、人類の課題になった

世界は脱使い捨てプラスチックへ

日本はどうする？

2050 カーボンニュートラル社会

市民に、どんなことができるか？

スーパーマーケット環境調査

お店のプラスチック調査

話し手はこんな人

堀 孝弘 (ほり たかひろ) の紹介 1959年 京都市生まれ



現在 NPO エコネット近畿 職員 (きんき環境館 勤務)

過去 京都市ごみ減量推進会議 (公益財団法人京都市環境保全活動推進協会) 今日のごみ減当時の活動と、今もボランティアで関わっている環境市民の活動を紹介。  
奈良県生駒市 環境経済部次長

NPO法人環境市民 事務局長  
京都グリーン購入ネットワーク 事務局長  
同志社大学、立命館大学、京都精華大学など6校の講師  
京都大学 (環境保全センター) 職員などを歴任

その前の経歴

コンピューター機器販売、生協職員を経験

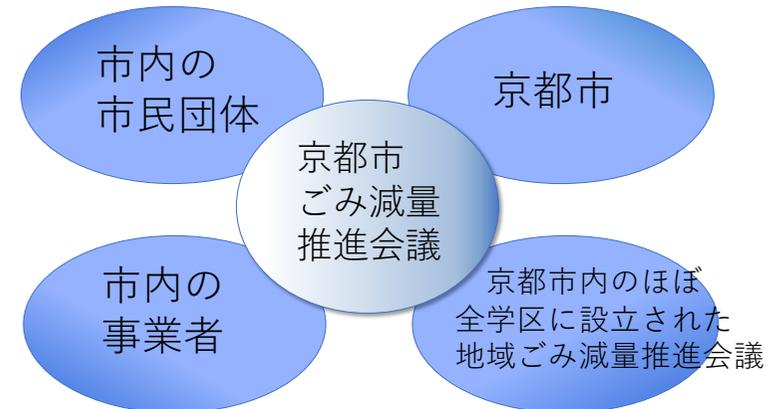
著書 (共著を含む)

- 「日本のおもちゃ・アニメはこれでいいのか」地歴社1994
- 「やってみようエコチェック」講談社2002
- 「だれでもわかるデポジット」合同出版2003
- 「ごみ問題100の知識」東京書籍2004
- 「グリーンコンシューマーガイド1999京都」環境市民1999共著

京都市ごみ減量推進会議

1996年に設立 会員500団体

公益財団法人京都市環境保全活動推進協会が運営



財源の大部分は、京都市からの補助金。他に会員の会費、事業収入  
京都市ごみ減量推進会議は、京都市ではできない、できにくい活動に取り組む。

# プラごみ問題

ちょっとお勉強・どんな問題か

海洋プラスチックごみ問題に世界が注目

広く注目されるようになったのはいつ？

2016年1月に  
スイスで開催されたダボス会議

WORLD  
ECONOMIC  
FORUM

世界経済フォーラム年次総会で  
取り上げられ、そこで発表された報告から  
深刻な実態が明らかになる。

日本国内でも環境省が2016年1月と12月、  
内外の研究者らを招き、  
「海洋ごみシンポジウム」を開催した。

WORLD  
ECONOMIC  
FORUM

2016年1月、世界経済フォーラム年次総会で  
海洋プラスチック問題の深刻な実態が報告された。

世界の陸地から  
毎年**800**万トン以上の  
プラごみ流出

世界の海に  
**5兆個**以上の  
プラスチックごみ

2050年には、海の魚より  
プラごみの方が多くなる  
(重量ベース)

本日は海ごみの話はここまでにします。

気になる人はこちらをご覧ください。堀 孝弘ブログ

わかりやすい海ごみの話 その1  
海ごみの実態

<http://horitakahiro.sakura.ne.jp/2017/06/29/umigomi1/>



わかりやすい海ごみの話 その2  
海ごみの影響

<http://horitakahiro.sakura.ne.jp/2017/07/06/umigomi2/>



わかりやすい海ごみの話 その3  
海ごみと私たちの暮らし

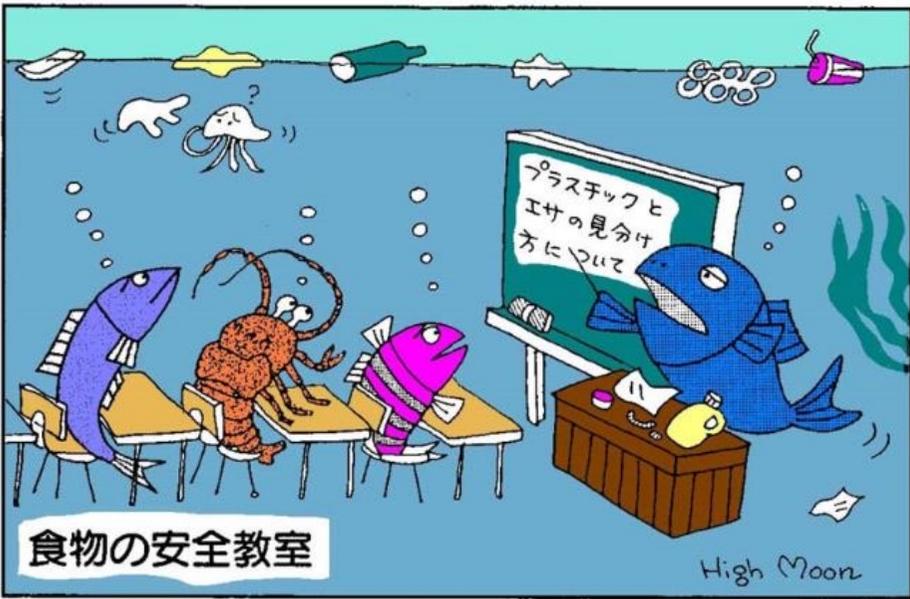
<http://horitakahiro.sakura.ne.jp/2017/07/15/umigomi3/>



わかりやすい海ごみの話 その4  
海ごみの発生減対策

<http://horitakahiro.sakura.ne.jp/2017/08/08/umigomi4/>





とても便利で、暮らしを豊かにしてくれたプラスチック

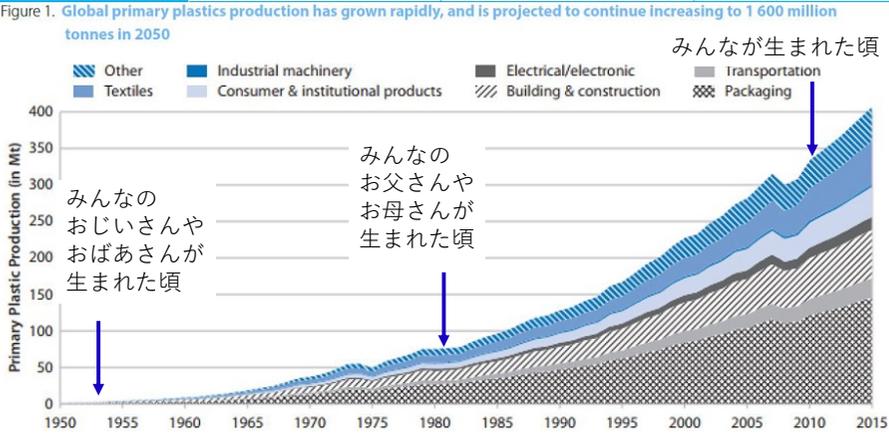
# プラスチックとどうつきあっていくか

世界の、人類の課題になった。

小学校5年生を想定して作った資料

## 世界のプラスチックのふえ方は？

みんなのおじいさんやおばあさんが、子どものころは、どうだっただろう？  
みんなが生まれてからも、ふえているよ。世界では、今もふえつづけている。



出典：OECD POLICY HIGHLIGHTS Improving Markets for Recycled Plastics – Trends, Prospects and Policy Responses]

## 世界の首脳会議でも議題に

G7エルマウ・サミット（2015年6月）  
海洋ごみ、特にプラスチックごみが世界的課題であることを初めて提起。

2016年の世界経済フォーラムより前に取り上げられていた。

G7伊勢志摩サミット（2016年5月）  
3R等により、海洋ごみに対処することを確認。

G20ハングルク・サミット（2017年7月）  
「G20海洋ごみ行動計画」の立ち上げに合意。数値目標は含まない。

G7シャルルボワ・サミット（2018年6月）  
カナダ及び欧州各国が「海洋プラスチック憲章」を承認。

日米署名せず

G20大阪サミット（2019年6月）  
共通の世界のビジョンとして、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有。

2040年に前倒しを

## 日本でも、脱使い捨てプラスチックへ

日本

2020年7月

レジ袋の全国一斉有料化の実施  
(京都市は、2015年スーパーマーケットほぼ全店でレジ袋有料化実施)

2022年4月

プラスチック資源循環促進法 施行  
特定12品目への規制

カトラリー、マドラー、ストロー、アメニティグッズ、クリーニングハンガー・袋



## プラスチック資源循環促進法 2022年4月施行

カトラリー、マドラー、ストロー、アメニティグッズ、  
クリーニングハンガーなどの使用規制

提供する事業者求められる7つの対応

【提供方法に関するもの】と【提供する製品に関するもの】

1. 【提供方法】消費者に必要・不要の意思確認をする。
2. 【提供方法】不要とした消費者にポイントの還元などをする。
3. 【提供方法】消費者に有償で提供する。
4. 【提供方法】提供した消費者に繰り返し使うよう促す。
5. 【提供する製品】繰り返し使うことができる製品の提供。
6. 【提供する製品】環境配慮品や持続可能な商品など工夫された製品の提供。
7. 【提供する製品】商品やサービスに適したサイズの製品の提供

# 世界は 脱使い捨て プラスチックへ 日本はどうする？

そんななか

フランスから  
こんなニュースが  
届きました！

野菜・果物販売時のプラ包装が**禁止**に！  
(未加工の1.5kg未満の31種の青果物)

2022年1月施行

## 調査の背景

# フランス、販売時のプラスチック包装禁止対象青果物 (未加工で1.5kg未満)

長ネギ	カブ	オレンジ
ズッキーニ	キャベツ	ミカン類
ナス	カリフラワー	キウイ
ピーマン	カボチャ	レモン
パプリカ	パースニップ(ニンジンに似た根菜)	グレープフルーツ
キュウリ	ラディッシュ	ブルーベリー
ジャガイモ	トピナンブール(キクイモ)	メロン
ニンジン	リンゴ	パイナップル
トマト(丸型)	ナシ	マンゴー
タマネギ	バナナ	パッションフルーツ
2022.1.1より施行 2023.6.30以降追加された。		カキ

## 調査の背景

JETRO <https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/10/8fb8d7bbd751ffa6.html>  
日本貿易振興機構(JETRO) 海外ビジネス情報 サービス 国・地域別に見る 目的別に見る 産業別に見る

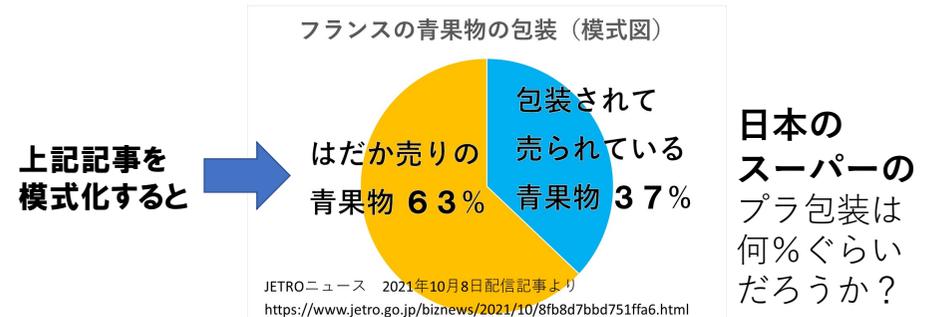
ビジネス短報 2022年1月から小売りで野菜・果物のプラスチック包装禁止

ビジネス短報

ビジネス短報のコンテンツ一覧

2022年1月から小売りで野菜・果物のプラスチック包装禁止  
上記サイトの下の方に、以下の記事がある。

(フランスの) エネルギー移行省は、**37%**の野菜・果物が包装付きで販売されていると推計しており、今回の措置により毎年**10億個**以上のプラスチック包装が削減できるとしている。



## フランス循環経済法のおもな内容 (廃棄物との闘いおよび循環経済に関する法律)

2019年7月10日閣議決定 2020年2月10日施行

### 第77条

- ・2020年から、コップ、グラス、皿、軸がプラスチックの家庭用綿棒の禁止。
- ・2021年から、ストロー、カトラリー(ナイフ・スプーン・フォークなど)、持ち帰り用グラスのふた、発泡ポリスチレンの容器(店内飲食用もしくは持ち帰り用)およびボトル、ステーキ用ピック、風船棒、プラスチック紙吹雪の禁止。
- ・2021年から、使い捨てプラスチック袋の製造および輸入を禁止する。違反の場合、自然人は3,000ユーロ、法人1万5,000ユーロまでの罰金を科す。
- ・**2022年から、非生分解性プラスチックのティーバッグ、小売店での1.5キログラム未満の未加工の野菜・果物のプラスチック包装、ファストフード店のおまけで無料提供されるプラスチックおもちゃの禁止。**
- ・2023年から、ファストフードなど飲食店に対し、店内飲食用に再利用できるカップ、グラス、カトラリーの使用を義務付ける。
- ・2022年から、公共施設に冷水機の設置を義務付ける。

### 第78条

- ・2022年から、新聞・雑誌・広告のプラスチック包装の禁止。

### 第79条

- ・2025年から、海洋プラスチック問題の解決策として、新品の洗濯機にはマイクロファイバー用のフィルターの備え付けを義務付ける。

## 日刊スポーツ

### 24年パリ五輪は使い捨てプラのない大会に イダルゴ市長、ペットボトルの持ち込み認めない意向

[2023年5月27日8時27分]



パリのイダルゴ市長は26日、2024年パリ五輪で観客にペットボトルの持ち込みを認めない意向を表明した。環境汚染対策の一環で「パリ五輪を使い捨てプラスチックのない初の主要大会にすると決心した」と語った。

大会スポンサーの米飲料大手コカ・コーラはガラス容器で製品を提供し、マラソンでも再利用可能なコップを使う。(共同)

<https://www.nikkansports.com/sports/news/202305270000155.html>



# 日本の店頭でのプラ包装の実態はどうだろう？

フランスの青果物の包装（模式図）



フランスよりは多そうだけれど...

JETROニュース 2021年10月8日配信記事より  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/10/8fb8d7bbd751ffa6.html>

コロナ禍でプラ包装は増えたはず。でもコロナ禍以降の調査結果は見当たらない。

ならば、調べよう と思った次第です。

# 日本の店頭でのプラ包装の実態は？

コロナ禍でプラ包装は増えたはず。でもコロナ禍以降の調査結果は見当たらない。



鮮度維持や感染症対策のため、ある程度のプラスチック包装は必要です。でも、大根やキャベツ、レタス丸ごとプラ包装はどうだろうか？

## スーパーマーケット環境調査2022

# 調べてみた！

2022年11月、京都市内で「**お店のプラスチック調査**」を実施  
市内スーパー62店（20チェーン）を対象に、ボランティア50名の協力を得て実施。

実施主体 **京都市ごみ減量推進会議**



## 簡単に**結果報告**すると

京都市内のスーパーマーケット**62**店（21社）で、青果物をはじめ、お店のプラスチック調査を行いました。

市民・学生46人とごみ減スタッフ**計51**人で調べました。

全店、本社の承諾を得て、アポを取ったうえで行いました。

青果物売り場では、よく使う野菜10種の包装について、調べました。



その結果 **はだか売りは2割ほど** **プラ包装は、7~8割**

# もうちょっと、しっかり言うと

日本のスーパーのはだか売り比率  $\rightarrow$  商品点数比 **17.6%** 商品棚面積比 **25.7%**

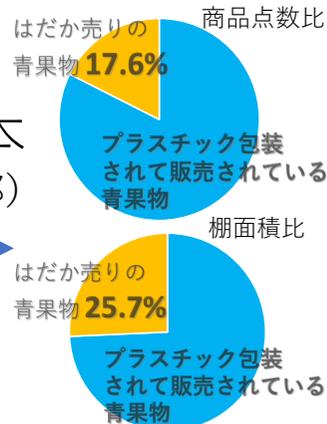
## フランス

フランスの青果物の包装（模式図）

包装されて売られている青果物 **37%**  
はだか売りの青果物 **63%**

JETROニュース 2021年10月8日配信記事より  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/10/8fb8d7bbd751ffa6.html>

日本  
(京都)



# しかし、スーパーチェーンによってずいぶんと違いがあった？

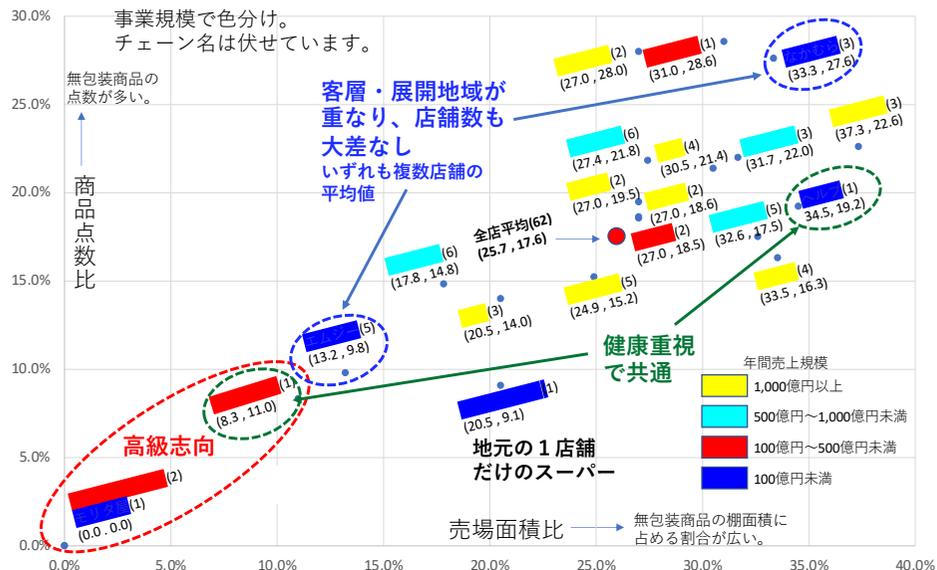
すべてのスーパーが同じようにプラ包装をしていたら...  
(もうこれ以上、工夫のしようがないのかもしれない)

はだか売りの多い店は、大きな店だけや、逆に、小さな（こじんまりした）店だけではなかった...

地域性で、はだか売りの多い地域と、少ない地域がはっきりと分かれていたら...

ほとんどすべての消費者が、「野菜はプラ包装されている方が良い」と思っているなら...

## スーパーマーケット青果売場のはだか売り（チェーン事業規模での比較）



2022年11月、京都市ごみ減量推進会議調べ。  
京都市内のスーパーマーケット62店で、青果物10品種を対象に調査。  
チェーン名右のカッコ内の数字は調査店舗数。下のカッコ内の数字は、左が  
はだか売りの売場面積割合（横軸）、右が商品点数比（縦軸）。単位は%

対象とした農産物は、だいこん、にんじん、かぼちゃ、じゃがいも、トマト（大王）、たまねぎ、かぼちゃ、なす、ねぎ、キャベツの10種。

## 調査項目外 省エネ・再生可能エネ



冷蔵リーチインショーケース  
(扉付き 冷凍はかなり普及)  
西友山科



冷蔵ショーケース上部にカーテン  
(冷気漏れを抑制)  
西友桂



扉付きアイランドショーケース  
(冷気漏れを防ぐ)  
イオン、イズミヤ、ダイエー



再生可能エネ電力100%使用  
生鮮館なかむら



店舗屋上にソーラーパネル設置  
デイリーカナートイズミヤ堀川丸太町

## 調査項目外 省エネ・再生可能エネ



飲料ショーケースの全段消灯  
左 ダイエー桂南店 中 ライフ西京極店 他フレスコ



天井照明の一部消灯  
イズミヤ白梅町、ダイエー桂南



オーバーキャノピー照明は、京都市内のスーパーで見つけることができなかった。  
写真は、イオン高の原店と、コープさっぽろ・とんでん店 ただしいずれも、棚照明は点けている。



## 調査項目外 食品ロス削減、環境情報の掲示



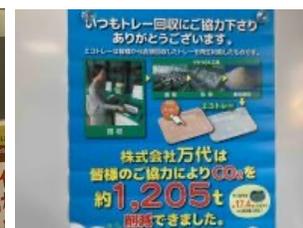
食品ロス削減のため、賞味期限が迫った商品の特売コーナー  
左 ライフ西京極店 中 イズミヤ白梅町店



フードライブ回収箱の設置  
ダイエー桂南、コーヨー北大路



フードライブの寄付を受けた人の声をフィードバック  
マックスバリュ藤森



お客さんから回収したトレーのリサイクル効果を紹介  
万代西小路五条



お客さんから見える場所での環境情報の掲示  
イズミヤ堀川丸太町店

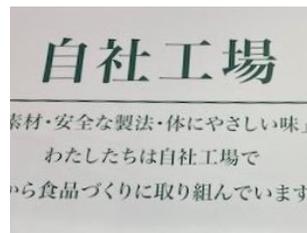
## 調査項目外 健康に配慮した商品



アレルギー、温活、腸活、健活、介護などニーズ別にコーナー分け  
デイリーカーナートイズミヤ伏見



有機、地場、健康、持続性をコンセプトに、健康や自然志向の商品を開発・展開  
ライフ



化学的な添加物を使わない食品生産のため自社工場を開設  
パントリー

より詳しい報告は、京都市ごみ減量推進会議の報告サイトをご覧ください。

「お店のプラスチック調査」で検索してください。

<https://2r-ecotown.kyoto-gomigen.jp/2r-activity/>



「お店のプラスチック調査」2022報告

2022年11月、京都市内のスーパーマーケット62店を対象に実施した「お店のプラスチック調査」から、プラスチック削減事例をはじめ、省エネ、健康を考えた商品訴求など、多くの好事例が見つかりました。野菜のプラ包装の現状やチェーンごとの取組の違いも見えました。買い物は、日常生活でできる投票行動。商品の選択は、未来の選択につながります。

HELP

暮らしに安心・安全なたべものを

ヘルプ、京都生協、エルコープなど、ずっと以前から健康、環境に配慮した商品の開発や品ぞろえに取り組んでいます。

一方、「店長こだわりの...」や「バイヤーが厳選した...」など具体性のない訴求は、心に響かない。

# 京都でのスーパーマーケット環境調査 2022

## しかし、課題も残った！

### 京都の結果は全国共通か？

### もっと優れたプラ削減や 省エネ事例はないか？

### 地方による差はないか？

# 全国スーパーマーケット環境調査2023 10月から始めています。 参加団体募集中

## 全国調査を やろう！

申し込み・問い合わせフォーム



すでに締め切りました



主催・問い合わせ先

〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る 第二ふや町ビル206号室  
NPO法人環境市民 グリーンコンシューマーグループ 担当 堀 孝弘  
電話: 075-211-3521 FAX: 075-211-3531

## 2023年9月22日現在参加予定団体

環境り・ふれんず (札幌市)  
北のごみ総合研究所 (札幌市)  
札幌友の会 (札幌市)  
札幌第二友の会 (札幌市)  
札幌第三友の会 (札幌市)  
消費生活実践グループin秋田 (秋田市)  
ACT53仙台 (仙台市)  
環境問題を考える会 (栃木県 下野市)  
小山の環境問題を考える (栃木県 小山市)  
容器包装の3Rを進める全国ネットワーク有志 (東京都)  
中野区消費者団体連絡会 (東京都 中野区)  
世田谷の環境を考える市民連絡会 (東京都 世田谷区)  
江戸川・生活者ネットワーク (東京都 江戸川区)  
小平・環境の会 (東京都 小平市)  
武蔵野・生活者ネットワーク (東京都 武蔵野市)  
狛江・生活者ネットワーク (東京都 狛江市)  
昭島・生活者ネットワーク (東京都 昭島市)  
東大和・生活者ネットワーク (東京都 東大和市)  
小金井・生活者ネットワーク (東京都 小金井市)  
府中・生活者ネットワーク (東京都 府中市)  
山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト (山梨県)  
みどりの市民 (長野県)  
浜松市消費者団体連絡会 (浜松市)  
中部リサイクル運動市民の会 (名古屋市)  
しがローカルSDGs研究会 (滋賀県)  
くうのくらすの創造舎 (滋賀県)

京都市ごみ減量推進会議 (京都市)  
エコ〜ると京大 (京都市)  
環境市民 (京都市)  
福知山環境会議 (京都府 福知山市)  
プロジェクト保津川 (京都府 亀岡市)  
木津川市こどもエコクラブサポーターの会 (京都府 木津川市)  
大阪ごみ減量推進会議 (大阪府)  
アジェンダ21すいた (大阪府 吹田市)  
千里リサイクルプラザ市民とお店PT (大阪府 吹田市)  
大阪産業大学花嶋ゼミ (大阪府 大東市)  
アースバルKOBÉ (神戸市)  
くらしを見つめる会 (高知市)  
石垣島キエーロプロジェクト (沖縄県 石垣市)

## 調査の目的 何のためにこんなことをするのか？

### 店頭でのプラ包装の実態把握

今後、プラ包装は社会的な要請を受け、減っていくはずですが、コロナ禍以降の店頭プラ調査のデータがなく、「いつと比べて、どれだけ減ったか」。今調べておかないと、比較資料がありません。

### プラ包装削減および省エネの好事例収集

「よいところさがし」を基本に、各地で減プラや省エネの好事例を集めたいと思っています。集めた事例は、各地で開催予定の「好事例報告会」で一般市民さんや流通事業者対象向けに伝えたいと思います。今申請している助成金が獲得できれば、全国各地で開催したいと思っています。

### 市民団体、学生団体の連携機会の拡大

近年、全国の市民団体がいっしょに何か行動する機会が減ったと感じています。新たな活動メンバーの獲得に苦慮している団体も多く、全国の団体の横連携の機会創出と、地域での新たなメンバー獲得の機会にしたいと思います。

## 調査の目的 何のためにこんなことをするのか？

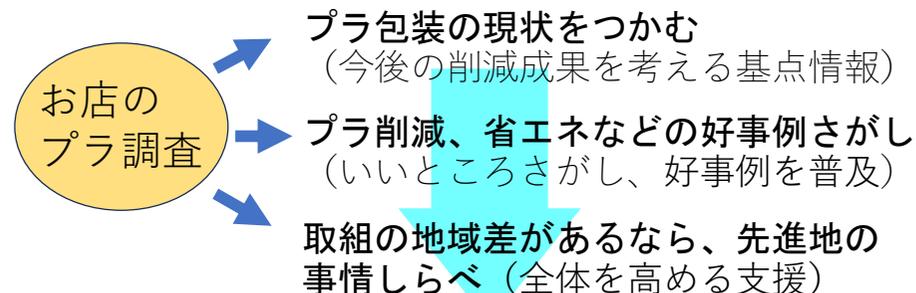
### 売り手と買い手の協力による 「未来の売り方・買い方」を考える基礎データを得る

コロナ禍の間に「セルフレジ」が一気に増えたように、将来の店頭商品陳列やレジシステムも今のままとは限りません。今は「実現不可能」と思うような、包装を減らして食品ロスも生まない輸送・陳列方法の開発を促すためにも、多くの消費者の理解が必要だと思います。そんなことを（本気で）考えるきっかけにしていきたいと考えています。

なお、お店やチェーンの  
ランキング等はいりません。  
よい事例はチェーン本社  
の了解を得て公開します。



## 調査の目的 図にするとこんな感じ



プラ包装、食品ロス、エネルギー、いずれの削減  
にもつながる、未来の売り方、買い方を考える  
きっかけづくりに。

消費者の理解増進、技術革新を促す

京都市中京区シサム工房裏寺町店店頭にて



## ご清聴ありがとうございました。



堀 孝弘 環境データ資料館  
見落としがちなの、あんなこと、こんなこと  
<http://horitakahiro.sakura.ne.jp>

2022京都市でのスーパーマーケット調査については、  
京都市ごみ減量推進会議のサイト「お店のプラスチック調査2022」  
をご覧ください。 <https://2r-ecotown.kyoto-gomigen.jp/2r-activity/>

2023全国スーパーマーケット環境調査の問い合わせ先  
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る 第二ふや町ビル206号室  
NPO法人環境市民 グリーンコンシューマーグループ 担当 堀 孝弘  
電話: 075-211-3521 FAX: 075-211-3531